

研究紹介

豊かな人間性

豊かな人間性を育む

カリキュラムマネジメント

〈道徳教育の充実に向けた

校長のリーダーシップについて〉

周南市立福川南小学校長

大迫敦子



一 はじめに

子どもたちが未来に希望をもち、人間としてよりよく生きるためには、豊かな人間性を育む道徳教育の充実は重要な課題である。そのために周南支部では「豊かな人間性を育むカリキュラムマネジメント」を研究課題に掲げ、「道徳教育の充実に向けた校長のリーダーシップについて」をサブテーマにして、校長の役割を明確にし、協同実践と成果を共有しながら研究を進めてきた。

二 研究の視点

(一)道徳教育の充実に向けた校内体制の整備
(二)よりよい道徳授業づくりに向けた取組
(三)家庭・地域との連携

三 研究の実際

(一)道徳教育の充実に向けた校内体制の整備
ア 道徳教育に対する校長の方針の

明確化

・長期プランの提示、学校経営概要への位置付け、学校評価書への位置付け、道徳教育年間計画への重点目標の設定等ビジョンの明示

イ 道徳教育推進教師を中心とした協力体制の整備
・学校だより、学校要覧、授業研究の実施等を掲載したホームページの活用による周知・広報

エ 全教員による機能的な協力体制を整備

・研究推進委員会の立ち上げ
・道徳教育推進教師と研修主任の役割を確認
・道徳教育推進教師による「道徳教育推進カレンダー」の作成

(二)よりよい道徳授業づくりに向けた取組

ア 教員の授業改善を促す道徳意識調査結果の活用

・市内三年生以上の児童と全教員を対象に道徳意識調査を行い、結果から課題を把握して授業改善に活用する。

イ 周南市教育研究センターと共に取り組む研修の活性化と教員の資質向上

・センターと共に道徳教育のあり方や進め方を研究
・センターと協力員とで「道徳の授業づくりの手引き」を作成



道徳教育協力員と進める研修会

(三)家庭・地域との連携

ア 学校運営協議会を生かした取組の充実
・保護者や地域の参加型道徳授業についての提案



人も参加する道徳の授業

イ 地域組織との連携と異校種間連携の強化
・小中高等学校の校長による合同会議の開催

・小中合同の協議会内容を幼・保高校、地域ぐるみへ発展

四 校長の役割

(一)明確なビジョン
学校の課題解決に結びつく道徳教育目標を、先を見通した具体的な取組や姿を語り続けることが校長の姿勢として大切である。

(二)教員の意識改革

学校、児童の実態を全教員で共有する場を設けること、教員が研修に取組みやすい雰囲気醸成、環境をつくることが大切である。

(三)連携のコーディネート

地域の意見を取り入れる改善システムを構築すること、連携校の校長同士が課題意識を共有することが大切。特に、学校運営協議会をどう運営していくかが、校長のリーダーシップを発揮するポイントである。

五 おわりに

研究体制が各校で確立され、道徳教育の要である道徳の授業づくりの基本が示されたことで、授業改善が進みつつある。

今後、校長のリーダーシップ、働きかけによるマネジメントが効果的であったかどうかを評価する指標と検証方法等の具体化を進めていきたい。